

区の補助計画等のまとめ	1 情報政策分野の政策課題	2 課題解決に向けた施策の方向性
	<p>(1)①区民に有益な情報や区の魅力をより積極的に発信する必要がある。特に区民参画の観点から、区民意見やニーズを取り入れる工夫をし、区民と区が「つながる」情報発信が求められる。</p> <p>②いつでも・どこでも情報が入手できる見やすく・使いやすいホームページが求められる。</p> <p>③区内に居住・滞在する外国人数は今後も増加傾向であり、多言語による情報発信を強化する必要がある。</p> <p>(2)大規模災害時における区民等の「命を守る広報(情報発信)」を検討する必要がある。また、首都直下地震が発生した場合におけるシステム復旧・稼働等に係る計画を策定しておく必要がある。</p> <p>(3)進歩の著しいICT(情報通信技術)の動向や国のデジタル・ガバメント推進に係る取組、巧妙化する不正行為に機動的に対応する必要がある。</p> <p>(4)デジタルインフラ整備の進展・インターネットの急速な普及に対応すべく、オンラインによる簡便な手法で行政サービスを提供していく必要がある。</p> <p>(5)個人情報保護しつつ、データの活用を推進するため、抽象化情報、非識別加工情報、匿名加工情報などの活用に対応していく必要がある。</p>	<p>【5年後】</p> <p>(1)①区報、ホームページ等のほか、新しい情報発信媒体を取り入れつつ情報発信する。また、区民記者など双方向性があり、区民とともに区の魅力を発信できる環境づくりを目指す。</p> <p>②ホームページ管理ツール(CMS)を含めた抜本的な見直しを行う。</p> <p>③より正確な多言語配信を行うため、機械翻訳に適した「わかりやすい日本語」のルール化を目指す。気象情報や災害情報へも多言語自動配信を導入する。</p> <p>(2)①自動配信等、即時性のある情報発信の手法を検討する必要がある。</p> <p>②被災者支援・業務継続・情報発信に必要な重要システム・データについて、情報セキュリティの向上の観点も踏まえ、クラウドサービスに移転(堅牢なデータセンターへ移行)する。</p> <p>(3)情報発信に関する見識・経験等や、情報システムの調達・運用等に関する専門知識・技術に裏付けされた戦略的・機動的な検討を行うため、外部人材の登用等を行う。</p> <p>(4)各種手続を容易に確認できるようにするとともに、時間・場所を問わずに手続を可能とするオンライン化を進め、併せてICTの活用により、行政内部の処理の効率化を進める。</p> <p>(5)①個人情報の取扱いや情報セキュリティ対策に配慮したデータ活用による個々のニーズに対応したよりきめ細かい住民サービスを提供する。</p> <p>②区内における各種データ活用による行政運営の効率化・適正化・透明性の向上を図る。</p> <p>③API(機能や管理するデータなどを、外部の他のプログラムから呼び出して利用するための手順やデータ形式などを定めた規約)の整備等による行政情報のオープンデータ化及び利活用を促進する。</p> <p>【10年後】</p> <p>(1)区民と区が「つながり」、共に考え、協働でつくる「住みたいまち・住み続けたいまち」に資する情報を発信していく。</p> <p>(2)社会情勢の変化やICTの動向、各種行政事務の制度改正を注視しつつ、新たな課題に対応する。</p>



審議会まとめ	3 審議会での主な意見	
	<p>○ 若者への情報発信ツールとしてSNSなどを有効活用した方がよい。</p> <p>○ ICT活用だけではなく、情報弱者、高齢者等への情報発信は紙媒体にするなど様々な手法を検討していくべきである。</p> <p>○ 「戦略的な情報発信のための指針」の目標である「『伝わる』手法で情報発信し、区民と『つながる』環境をつくる」という視点は、新しい計画にも残した方がよい。</p> <p>○ 区民同士のつながりや、プラットフォームの構築等の視点も盛り込むべきである。</p> <p>○ 先端技術の活用は、長期計画においては理念的な記載にしないと陳腐化する。</p> <p>○ 情報分野においては、民間活用の視点も盛り込んだ方がよい。</p> <p>○ 障害者や高齢者等を支える手法等について、専門機関と連携して進めてはどうか。</p> <p>○ ICTの活用により定型業務の自動化を推進する視点を盛り込んでほしい。</p> <p>○ 政策課題としては、ネットリテラシー教育も重要な視点となるのではないか。</p> <p>○ ICTの活用は、防災の面でも重要な事項である。また、学校のICT環境整備も課題である。</p>	
	4 情報政策分野の概ね20年後の区の将来像やあるべき姿【キーワード】	
	<p>○ 「伝わる」手法で情報発信し、区民と「つながる」環境をつくる</p> <p>○ 時代に即した情報発信媒体の活用と多様な提供方法の確保</p> <p>○ 区と区民がつながる双方向コミュニケーションの充実</p>	<p>○ ICTの活用による区民の利便性の向上と業務の効率化</p> <p>○ 高度に専門的な知見や、多様な民間の力の活用による情報化の推進</p>